

### 住みよい まちづくりを

#### 学区内人口

(令和6年4月1日現在)

世帯数	1,572
人口	3,176
男子	1,513
女子	1,663
高齢化率	41.8%

# 仲町 ふれあい

発行  
仲町学区  
コミュニティ推進会  
原孝介  
仲町交流センター内  
0294(21)5564  
印刷  
いわぶち印刷所  
0294(36)1778

## 仲町学区コミュニティ推進総会 仲町地区社協総会

### 令和6年度 事業計画

学校再編計画により今年度で平沢中学校が、数年後には仲町小学校が統合により仲町学区から無くなってしまう予定です。これまで学区単独で計画していたことも、学校が統合される宮田学区、中小路学区と共同で開催する事業も出て来ます。特に青少年育成部、文化部、体育部はこの影響を受けるものと思います。

小中学校統合という大きな環境の変化に対応し、地区の伝統、個性も大切にしながら、子どもたちの気持ちを大切に、これまでもさらに楽しいイベントが実施できるように、他学区とともに取り組んでいきたいと思えます。

また、少子化・高齢化にも対応した取り組みや災害対策にも取り組んでまいります。

30年以内に50%の確率で発生するという震度6弱以上の地震に対する備え、昨

年被害を受けた線状降水帯に対する防災対策、これらに付随する火災災害に対しても皆の防火に対する意識向上につながる働きかけを行い、災害に強い仲町学区をめざしたいと思えます。

これからも安全で安心して暮らせる住みよいまちづくりをめざし、交流センターを活動の拠点として、各種事業を活発に推進して行きます。自分の住むまちを自分たちの力で良くしていきたいでしょう。皆さまの参加と協力をよろしく願います。



令和6年4月21日実施の総会状況

## コミュニティ推進本部役員

会長 (地区社協も兼ねる)	原 孝介
副会長	下山田幹子
副会長	藤田とし子
防災・防犯部長	佐藤 光寿
文化部長	原 孝介 (兼務)
体育部長	大場 昭仁
環境美化部長	津村 弘史
青少年育成部長	長谷川陽子
ふれあい事業部長	川俣 功
安心ネット事業部長	菅原 康宏
広報部長	佐藤 朝美
生涯学習推進部長	(地区社協も兼ねる)
事務局次長	山元 信和 (兼務)
事務局次長	菅原 康宏 (兼務)
会計 (コミュニティ推進担当)	佐藤 朝美 (兼務)

### 令和6年度 重点項目

- (1) 地震・台風・火災に強い、安全で安心なまちづくり
- (2) 生活安全のための自主防災・防犯活動の推進
- (3) 学校統合への対応と青少年の健全育成活動の充実
- (4) 住民の福祉の向上をめざした福祉活動の推進
- (5) 避難行動要支援者、高齢者の支援体制の確立
- (6) 生涯学習事業の推進
- (7) きれいなまちづくりと環境美化事業の推進

会計 (地区社協担当)  
(兼務) 藤田とし子  
監査 (地区社協も兼ねる)  
千葉 要  
監査 (地区社協も兼ねる)  
栗田 明

仲町学区  
ホームページの  
QRコードです



### 清掃功労者市長表彰

地域の環境美化のため、地道に清掃活動に取り組んでいる団体、個人に令和5年度清掃功労者市長表彰状が送られました。

今年度は、「根本 俊男」さんが総会の席上、表彰されました。

高鈴町の通学路の整備と保全に長年尽力されています。

これからもよろしくお願います。尚、団体は該当なしでした。



功労者 根本俊男氏

### 仲町交流センター 運営委員会事業

仲町交流センターは、住民相互の交流と地域活動や生涯学習、介護予防等の地域福祉活動を通して、住みよいまちづくりを進めるための拠点として運営してまいりました。おかげさまで地域に幅広く浸透し、多くの方々に利用されております。

開かれた交流センターをめざし、地域の方々に快適に利用していただくため、利用者の声を聞き、事務局全員による月1回のミーティングや運営委員会を通して交流センターの管理運営上の諸問題、施設の改善・修復を進めてまいりました。引き続き努力していききたいと考えており、皆様のご協力をお願いいたします。

### 運営委員会

- 委員長 原 孝介
- 副委員長 下山田 幹子
- 副委員長 藤田とし子

### 利用団体連絡会

- 会長 山元 信和
- 書記 瀧口みどり
- 山田美津江

### コミュニティ推進会のおもな事業 [(2)(6)は実行委員会運営]

- (1)健康づくり体育祭 5月18日(土)
- (2)仲町まつり 9月15日(日)
- (3)敬老会(祝い品を敬老者へ郵送) 9月
- (4)地域防災訓練 10月19日(土)
- (5)魅力再発見ウォーク 10月27日(日)
- (6)文化祭 11月3日(日)
- (7)かみねフェスタ 12月1日(日)
- (8)新町・加性地区合同避難訓練 3月8日(土)

※皆様方の事業と重ならないようにご配慮いただけるようお願いいたします。

### 健康づくり体育祭

5月18日(土)に仲町学区「健康づくり体育祭」を開催しました。昨年とは異なり快晴の一日でした。

学区内の希望者とコミュニティ推進会のスタッフの約40名が参加しての体育祭となりました。「限界玉入れ」と「紅白対抗大玉送り」の2種目に参加し楽しいひと時を過ごしました。子どもたちの笑顔や頑張る姿を見て皆さんのパワーをもらいました。



健康づくり体育祭地域の参加者

### 交流センター除草作業

5月11日(土)に令和6年度の第1回の仲町交流センター除草作業を行いました。天候は2日前から徐々に良くなりこの日は陽が差す良い天気でした。

水分補給に注意しながら、利用団体をはじめ環境美化部の皆さんや交流センターのスタッフ、役員なども加わって草刈りと裏庭の宮田川に注ぐ支流の川掃除を行いました。総勢42名でした。皆さまお疲れさまでした。



交流センター除草作業

### 通学路清掃

5月25日(土)に仲町小学校と平沢中学校への通学路の清掃を実施しました。保護者と児童、学校の先生が、仲町コミ推の環境美



宮田川の現状

化部や交流センター関係者が集合しました。場所は仲町歩道橋、宮田歩道橋と白銀歩道橋の3カ所です。明るい空で気持ちの良い一日でした。約2時間の作業で通学路はきれいになりました。

**宮田川清掃**

6月1日(土)宮田川をきれいにする会主催の「春の宮田川清掃」が行われました。

昨年度の線状降水帯の影響により宮田川は氾濫して大きな被害をもたらしました。現在の宮田川は見違えるほど川幅は広がり、川底の土砂堆積物は払拭された美しい姿に変貌しました。不法投棄のないこの姿をぜひ維持したいものです。

### 切り絵教室

5月17日(金)仲町交流センターホールにて令和6年度 第1回の『切り絵教室』を開催しました。参加者は14名でした。3年目の方が7名、2年目の方が4名、今年が初めての方は3名です。

課題は2〜3年目の方と今年初めての方に分かれ、2〜3年目の方のこの日のテーマは『歌舞伎〜隈取り』です。今年含め10回の教室になります。

### 日立の歴史教室

6月8日(土)仲町交流センターホールにて令和6年度の『日立の歴史教室』の1回目の教室を開催しました。「日立市にゆかりある美術家たちの作品と制作背景を中心に」と題して日立市郷土博物館の大森潤也さんに講演していただきました。参加者は11名でした。

この講演で日立市は私たちの想像以上に多くの美術家たちがかわっている町であることが分かりました。

### 仲町学区の人口と高齢化率

広報部 佐藤 朝美

本紙1ページの1段目に「仲町ふれあい」のタイトルがあります。その左に「学区内人口」が掲載されています。これは89号(2001年)から掲載されるようになりました。

この記録をもとに、仲町学区の人口と高齢化率の推移を調べてみました。それより以前のデータは、日立市ホームページやネット情報によりました。

### 仲町学区の人口推移

図1に仲町学区の人口(青色棒グラフ)、仲町学区の高齢化率(赤色折れ線)、日立市平均の高齢化率(灰色折れ線)を示します。

高齢化率とは総人口に占める65歳以上の人口割合です。

仲町学区の人口は直線的に減少しています。24年1月1日現在、3223人です。03年から23年までの20年間で約1600人(33パーセント)減少しています。

このまま人口が減少していくと、40年後には仲町学区の人口はゼロになってしまう計算になります。

### 仲町学区の高齢化率

仲町学区の高齢化率は、現在41.3パーセントです。10人中4人が65歳以上となっています。日立市平均の高齢化率より8パーセント近く高いことがわかります。

表1に地区別の高齢化率を高い順に示します。仲町学区は3番目に高い地区となっています。高齢化率が高いということは、元気な高齢者が多いということもできます。

日立市の現在の人口は、16万4千人余りまで減少しています(市報1768号) そのような中で、健康第一で、みんな笑顔で声をかけあい、楽しく元気に活動し、この仲町学区を日立一の長生きの学区にしていきたいものです。

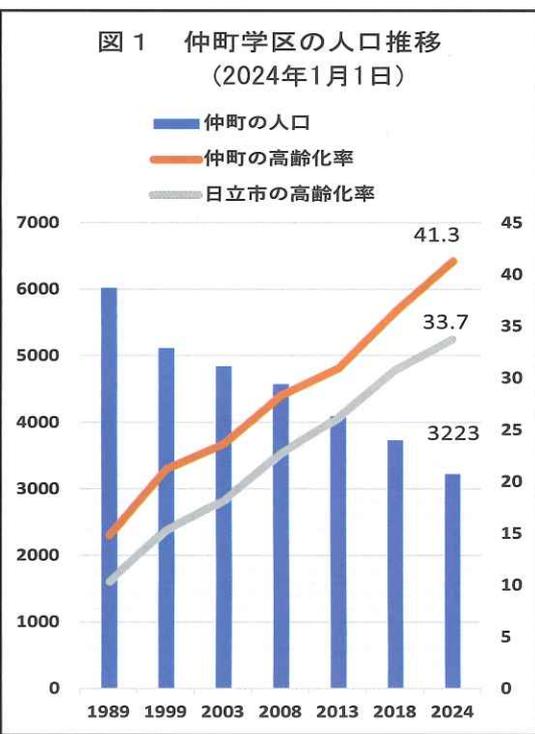


表1 日立市の高齢化率

(地区別、高い順、2024年1月1日)

順位	地区名	高齢化率
1	中里	58.9
2	金沢	45.0
3	仲町	41.3
4	成沢	40.9
5	滑川	35.3
5	坂下	35.3
平均	日立市	33.7

いがりさんの  
仲町オモシロ講座

日立市郷土博物館

猪狩 俊哉



その1 本山の一本杉

「本山の一本杉って、心霊スポットなんだって」とか「切ろうとしたらタタリがあるんだって」など、本山の一本杉には不可思議な話題がつきまといまいます。今回はそんなウワサのある本山の一本杉についてご紹介します。

本山の一本杉は、山あいを通る道路の中央に仁王立ちとして、道行くドライバーを驚かさず大木です。仲町学区から常陸太田市方面へむかう県道日立山方線（県道36号）沿いに立っていて、仲町交流センターあたりからですと、道のり6キロメートル、車で10分ぐらいの位置にあります。文化財としては、昭和49年（1974）に日立市指定の天然記念物に指定されました。指定さ

れた当方で、樹高34メートル、幹回りの太さは3・55メートル、樹齢は450年と推定されています。

本山の一本杉の由来は、当時の日本鉱業㈱日立精錬所の総務課に所属された佐藤孝氏が昭和56年に著した『日立鉱山山神社物語』に書かれています。

この『山神社物語』によると、元々は一本杉と同じぐらいの杉がたくさんあったようですが、次々と枯れて、明治期までに3本が残りました。さらに、その3本の内の2本は、明治35年（1902）9月28日の大暴風雨で倒れ、現在の1本を残すのみとなりました。

その1本が、大正から昭和にかけて行われた道路の幅を広げる数度の工事によって、昭和42年（1967）に道路の真ん中に位置することになったのです。工事を担当した県は一本杉を伐採するつもりでしたが、これを知った日本鉱業の庶務を務めていた福田五郎氏が日立鉱山の歴史を見守ってきた一本杉を守るため、県との交渉を重ね、現在の状況で保存することになった

のです。

ちなみに道路幅を広げる前の杉の根本は、脇を流れる宮田川にさらされてしまいましたが、工事のたびに土が盛り上げられ、昭和42年の工事では約2メートルも土盛りされたので、実は本当の根本は路面より2メートル以上も下にあります。

心霊スポットともウワサされる本山の一本杉には、鉱山の歴史を見守った大切な樹木として守られてきた歴史があつたのです。

◆今回から、仲町学区やその周辺に係わる歴史や文化や気になるスポットについて、連載で紹介することにしました。楽しく読んでいただけるようがんばります。よろしくお願いたします。



現在の一本杉



一本杉と道路と宮田川の関係イメージ図



約100年前の一本杉の周辺(中央が一本杉) 写真は日立市郷土博物館提供

今後(7月~9月)の主な行事

- 7月13日 交流センター 除草作業
- 8月24日 わんぱく隊 (青少年育成部)
- 9月15日 仲町まつり (仲町小学校にて開催)
- 9月28日 通学路清掃 (環境美化部)

編集後記

今回から紙面の最後に編集後記を載せることにしました。編集の裏話や苦労話、感想などを編集委員持ち回りで書いていきます。よろしくお願いたします。

みなさんの「ふれあい」を楽しく読んでいただくために、今回から、日立市郷土博物館の猪狩俊哉さんに仲町を中心にした歴史や文化にまつわる話題を連載で書いていただくことにしました。

皆さんの身の回りで不思議に思っていること、聞きたいことがありましたら、広報部までお知らせください。お待ちしております。次回から交流センター利用団体を紹介します。